ASIO のインストール方法について

Ver.1.00

KS-1HQM　設定マニュアル④

本設定マニュアルでは、foobar2000 を使って HQM コンテンツを 96kHz／24bit で再生するための ASIO(AudiOStream input Output:アジオ) の設定方法を説明します。本設定は HQM コンテンツを 96kHz／24bit で再生するために必ず必要な設定ではありません。PC 環境（機種・OS）や設定内容によっては HQM コンテンツを 96kHz／24bit で再生しない場合があるため、そのような場合に本設定を行うと効果があります。

設定概要：

Windows に ASIO4ALL をインストールし、foobar2000 で ASIO4ALL を利用するために、foobar2000 プログラムに ASIO 用の DLL ファイルを追加します。

①ASIO4ALL のインストール

②ASIO 用の DLL ファイルの追加

③ASIO4ALL の設定

ASIO について：

ASIO(Audio stream input output：アジオ）は、オーディオデバイスのドライバインタフェースの一つであり、ASIO を利用することで Windows 標準のカーネルミキサーをバイパスすることができる PC 上級者のための設定ツールです。Windows に起因する音質の劣化等があった場合、ASIO の機能を使用することでそれを回避することができます。

［お願い］

foobar2000 は弊社の製品ではございません。HQM コンテンツを再生するための、数種類以上ある PC 用音楽再生プレイヤの選択肢の一つとして紹介しています。

大変お手数ですが、foobar2000 についての詳細をお知りになりたい場合は、

foobar2000: Support and community (http://www.foobar2000.org/support)

等を参照し、お客様ご自身でお調べいただきますようお願いします。

海外製の foobar2000 の他にも、FLAC 形式の音楽ファイルに対応している音楽再生プレイヤとして、国産の Lilith（http://www.project9k.jp/）等があります。

①ASIO4ALL のインストールについて

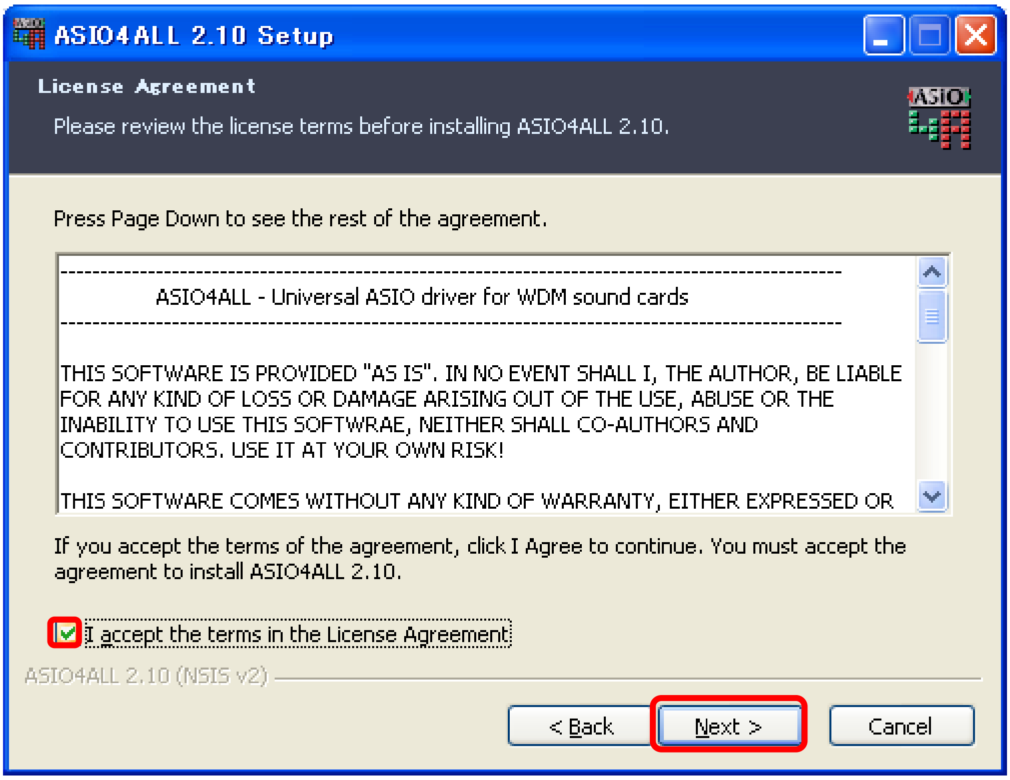
1. 下記のＷＥＢサイトから ASIO4ALL のプログラムファイルをダウンロードします。
   [ﾀｲﾄﾙ] ASIO4ALL - Universal ASIO Driver For WDM Audio
   [URL] http://tippach.business.t-online.de/ASIO4ALL/



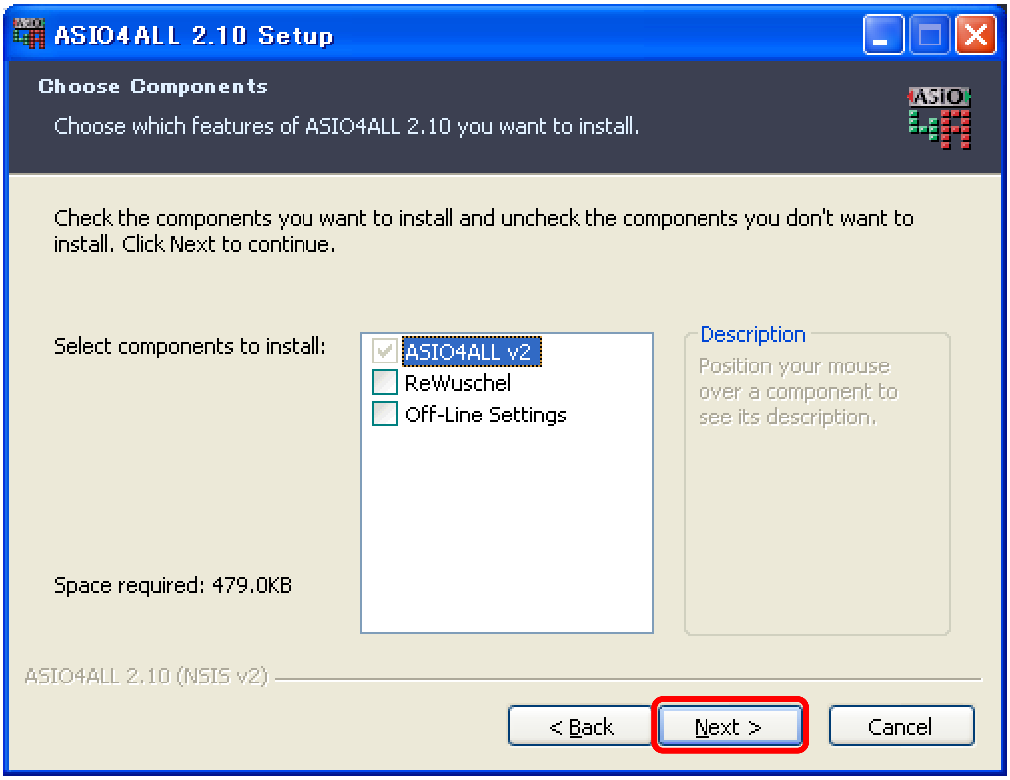
2. 保存したプログラムファイルをダブルクリックし、インストーラー（ダウンロードしたファイル）を起動します。下記の画面で［Next］を選択します。



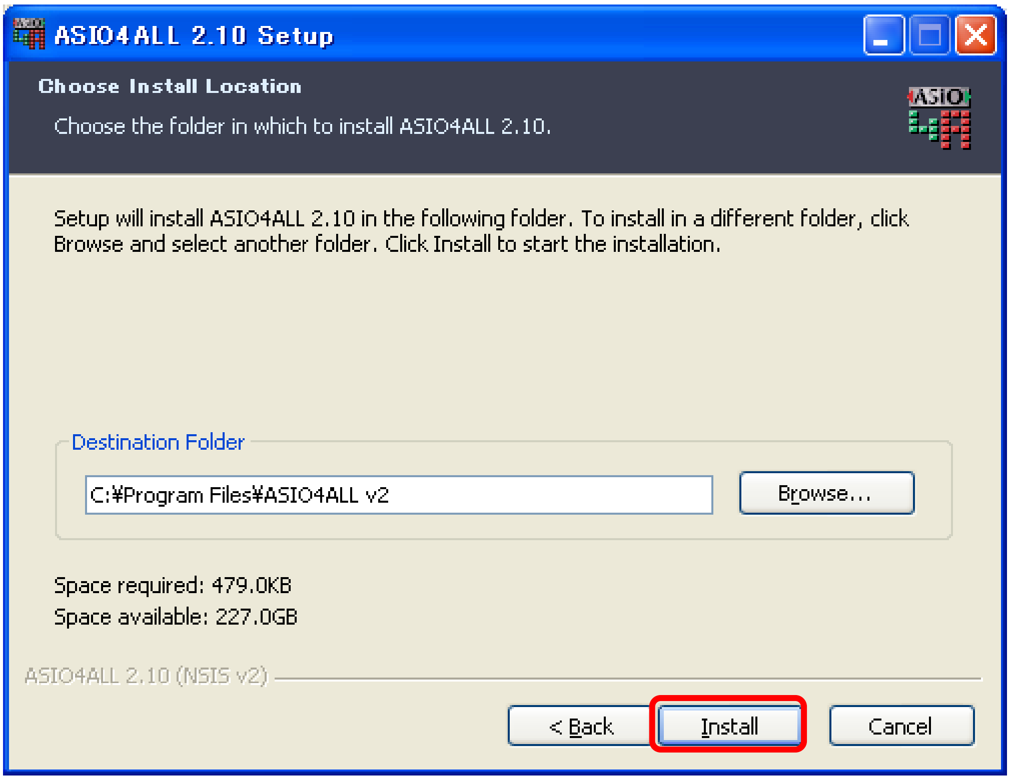
3.　ライセンス契約内容を確認して、同意可能であればチェックボックスをチェックを入れ、［Next］を選択します。



4.　" ASIO4ALL v2 " のまま、［Next］を選択します。



5.　" C:¥Program Files¥ASIO4ALL v2 " のまま、［Install］を選択します。



6.　インストールが完了したら、［Finish］を選択します。



②ASIO 用の DLL ファイルの追加について

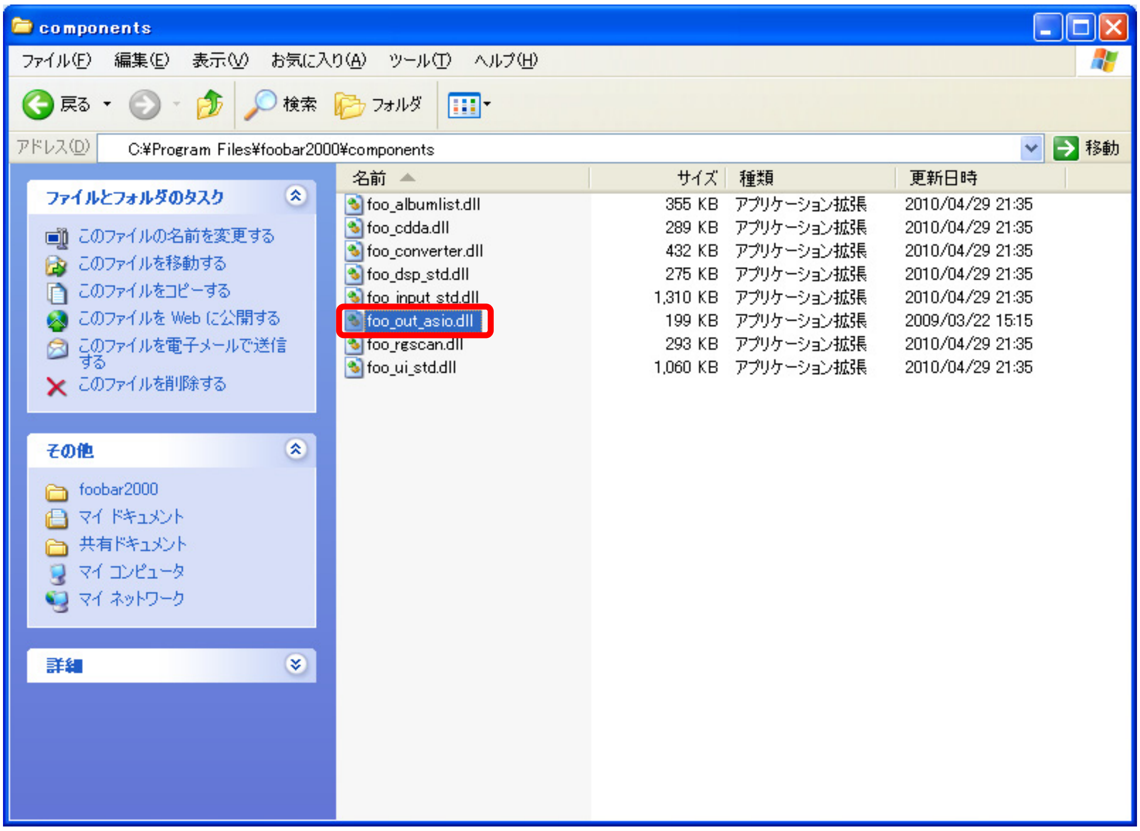
7. 下記のＷＥＢサイトから foobar2000 用の DLL ファイルをダウンロードします。

[ﾀｲﾄﾙ] foobar2000: Components RepOSitory - ASIOSupport

[URL] http://www.foobar2000.org/Components/view/foo_out_ASIO

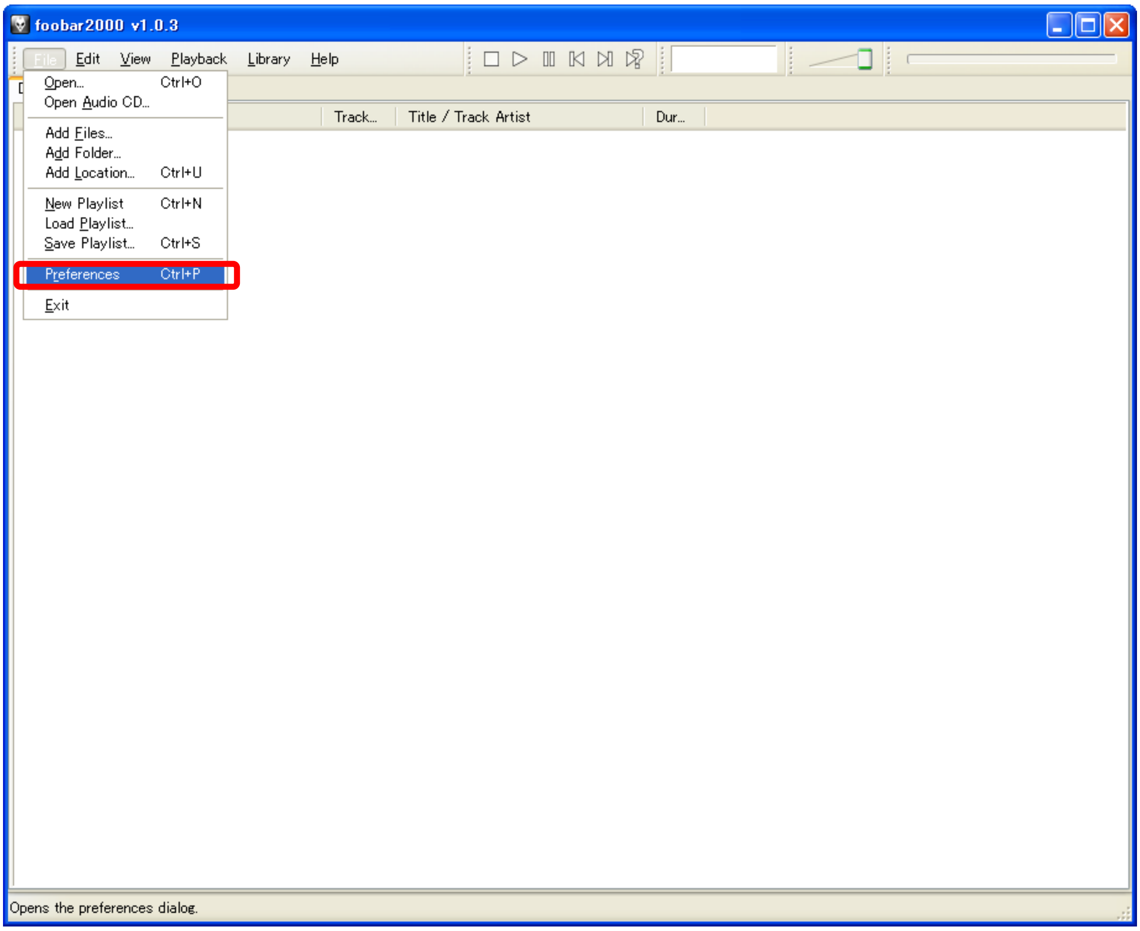


8. 保存した zip ファイルを解凍し " C:¥Program Files¥foobar2000￥Components " フォルダに保存します。

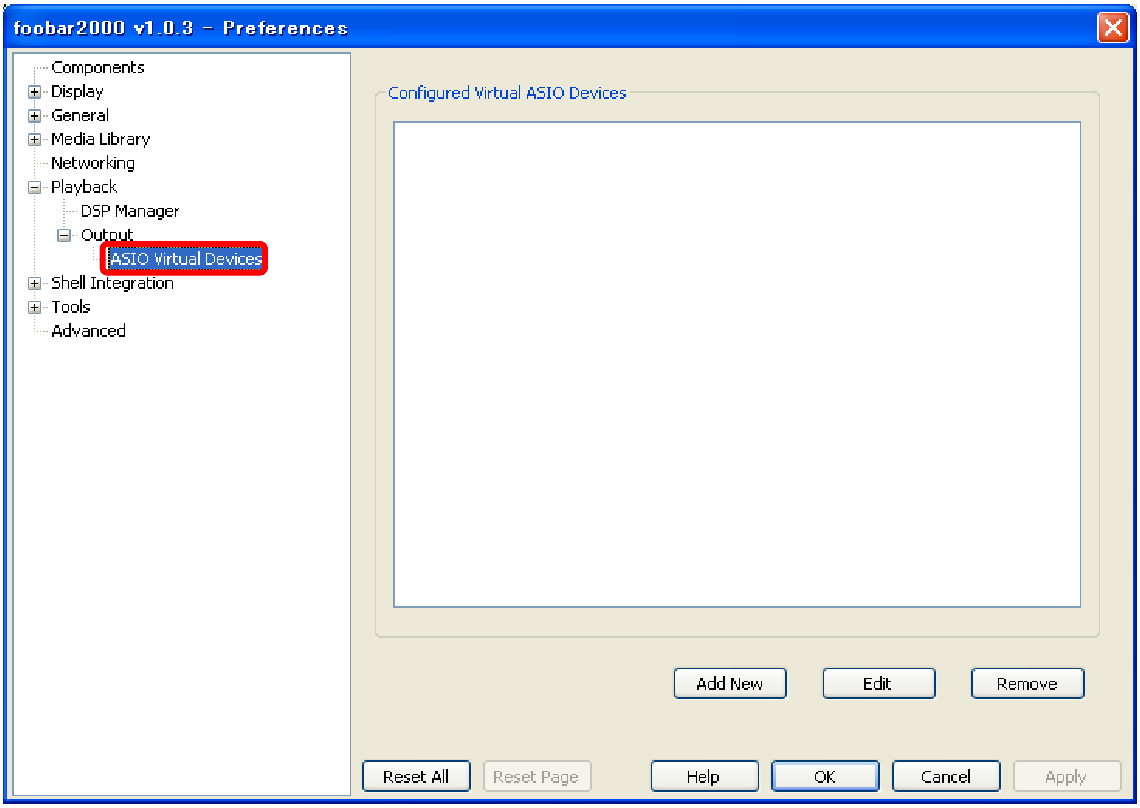


③ASIO4ALL の設定について

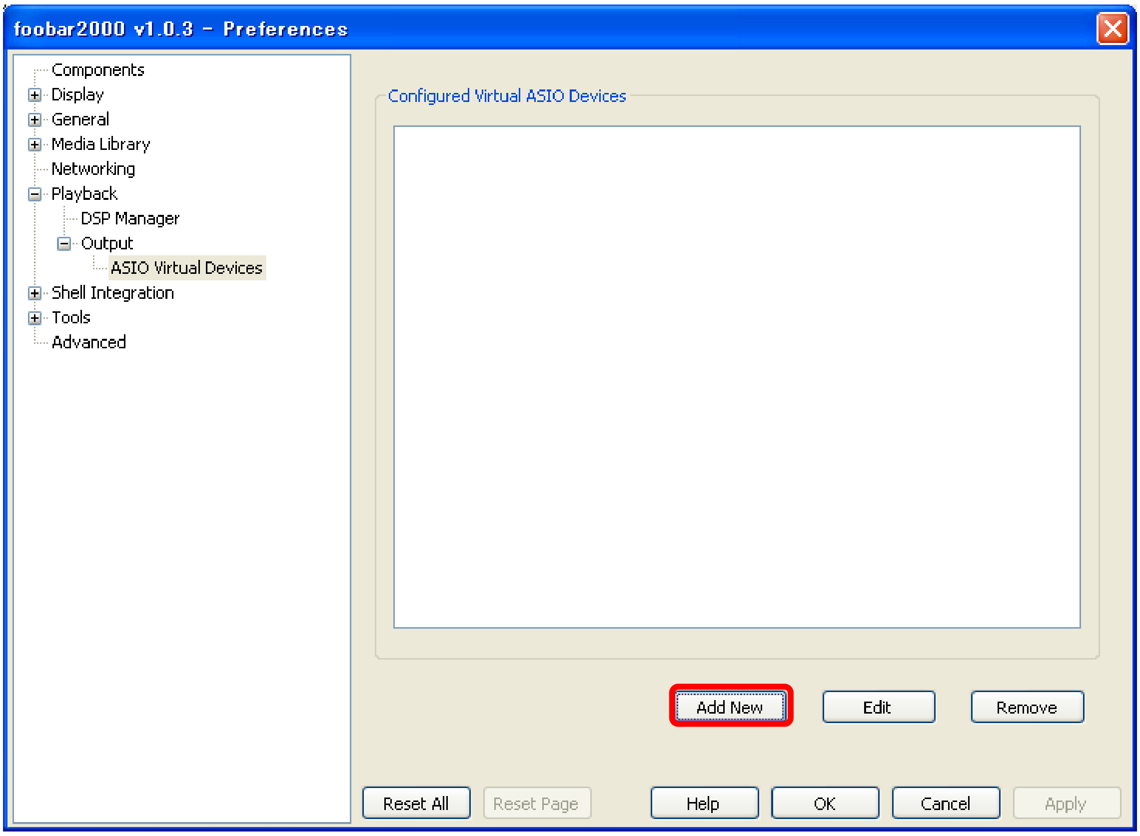
9.　foobar2000 を起動し、［File／Preferences］を選択します。



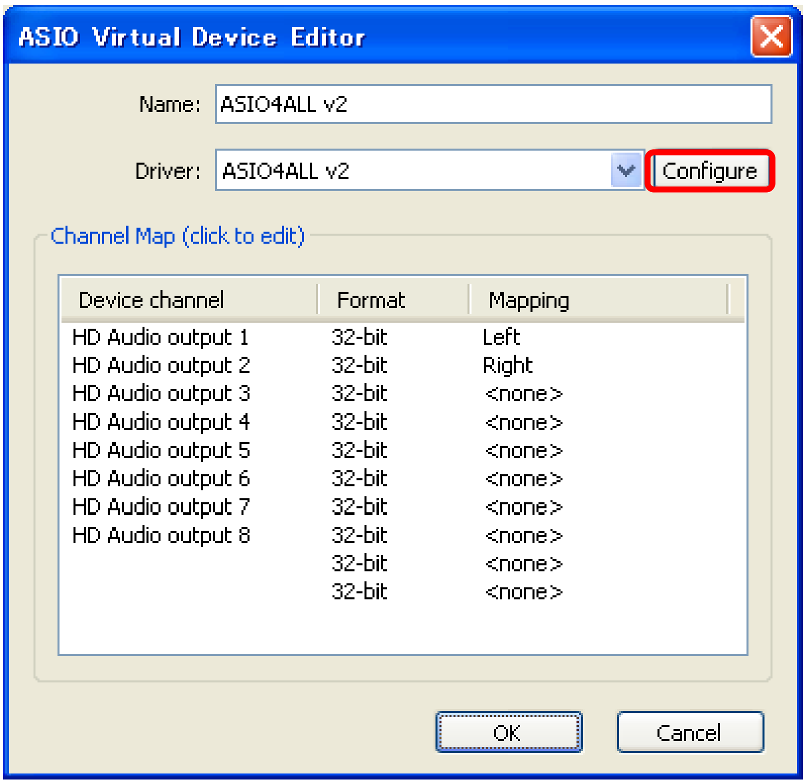
10.　Preferences（左メニュ）の Playback／Output 配下にある " ASIO Virtual Devices " を開きます。



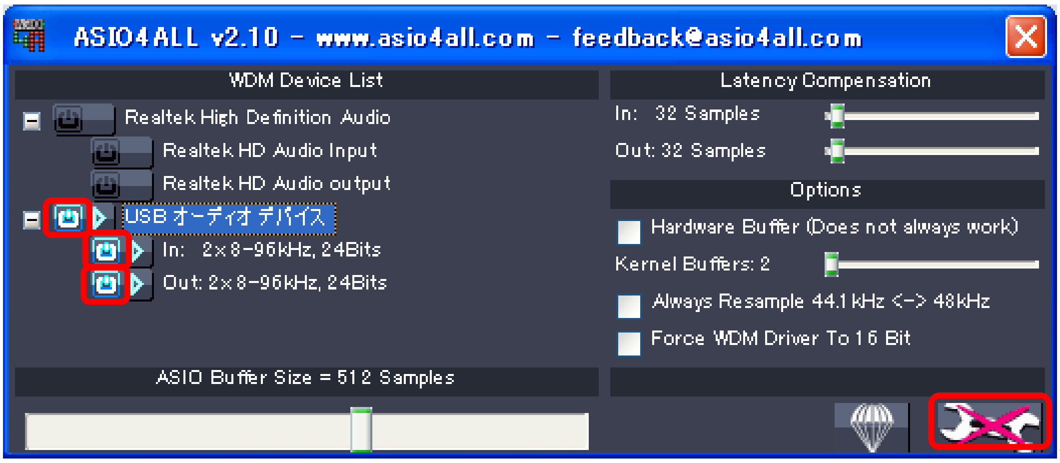
11. Configured Virtual ASIO Devices で［Add New］を選択します。



12. ASIO Virtual Device Editor で［Configure］を押します。

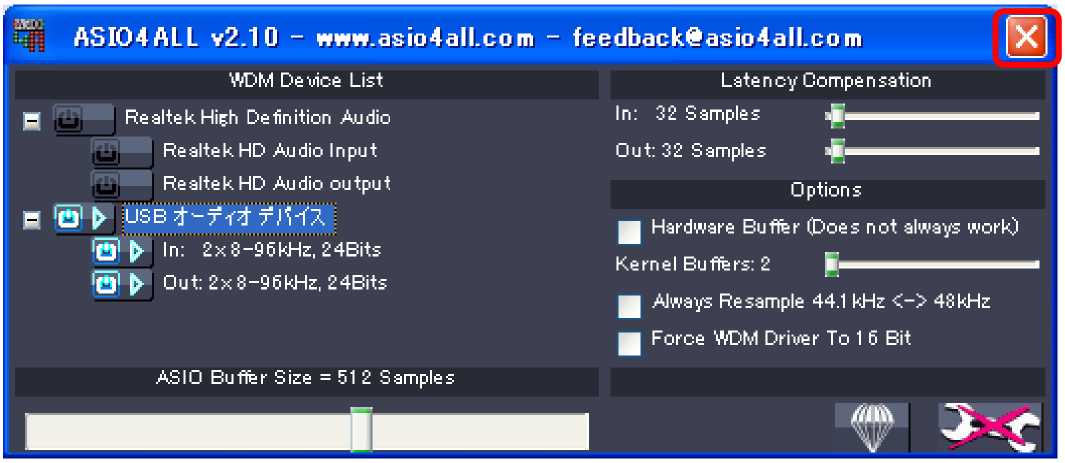


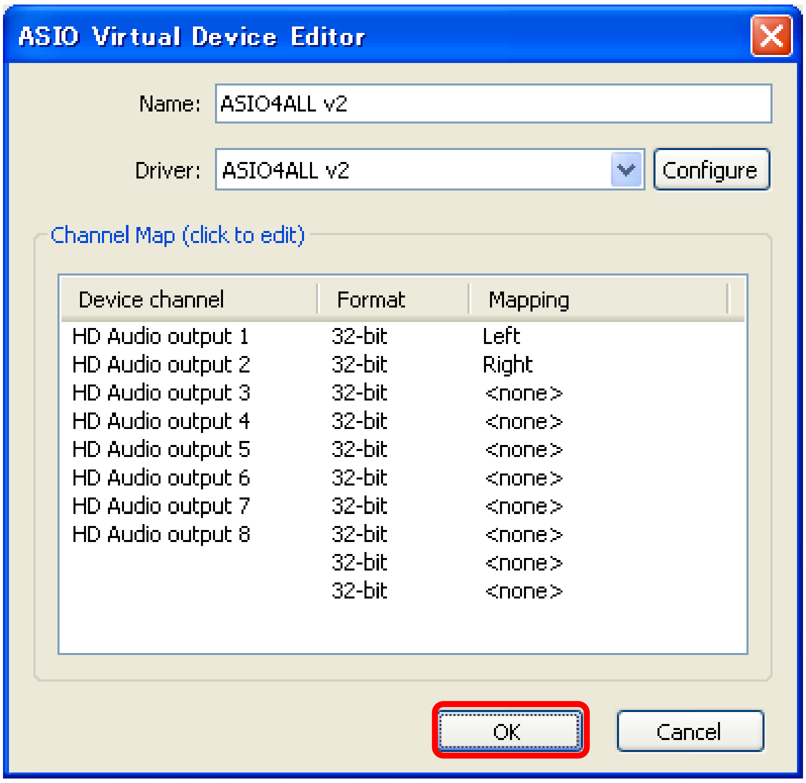
13. ASIO4ALL の " Advanced Options " の設定画面で " USB オーディオデバイス " のみ［アクティブ］状態に設定します。



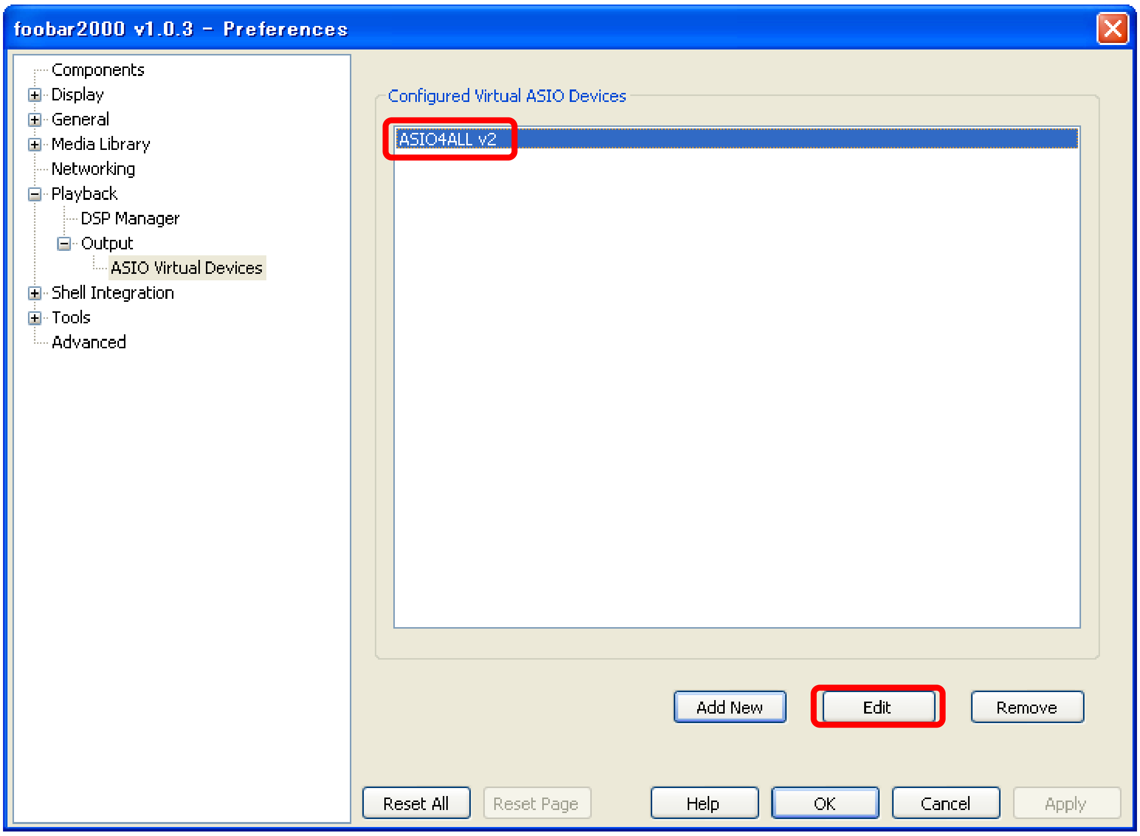
←Advanced Options

14. ASIO4ALL の設定画面を閉じて、ASIO Virtual Device Editor 画面を［OK］を押して閉じます。

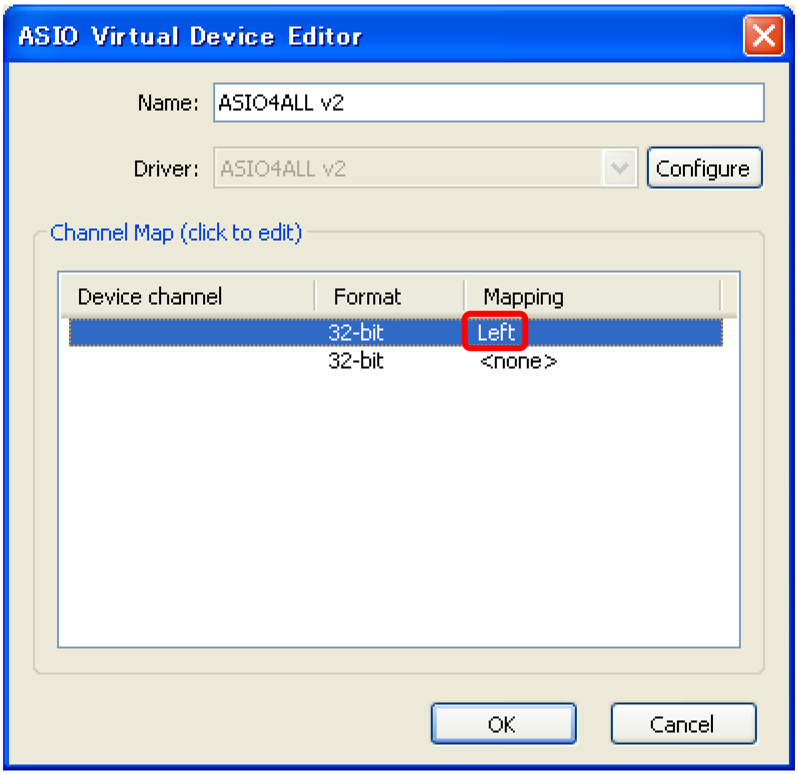




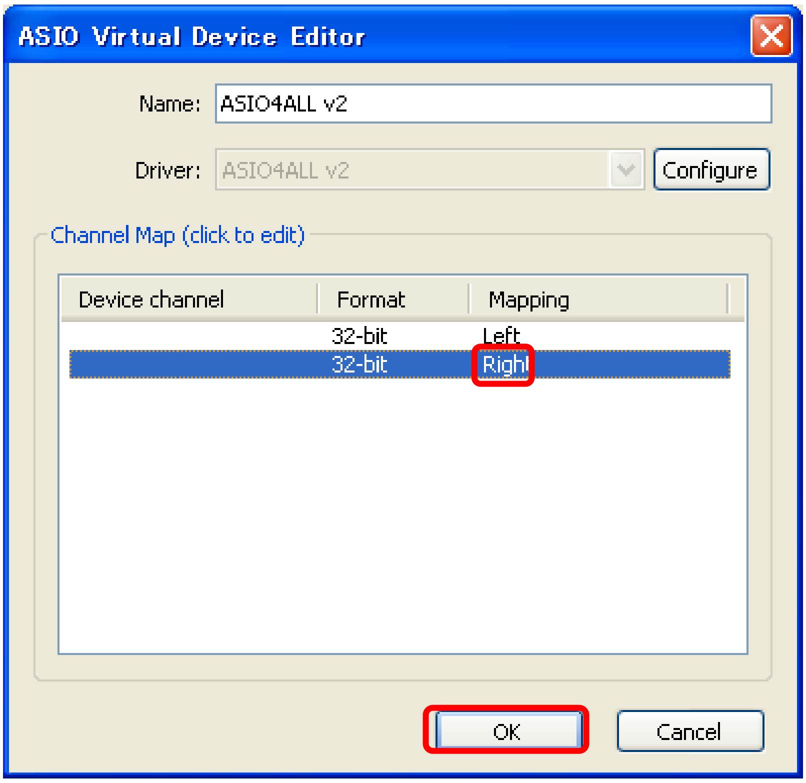
15. ＂Configured Visual ASIO Devices＂の中に[ASIO4ALL v2]が一つだけあることを確認し、[ASIO4ALL v2］を選択したまま［Edit］を押します。



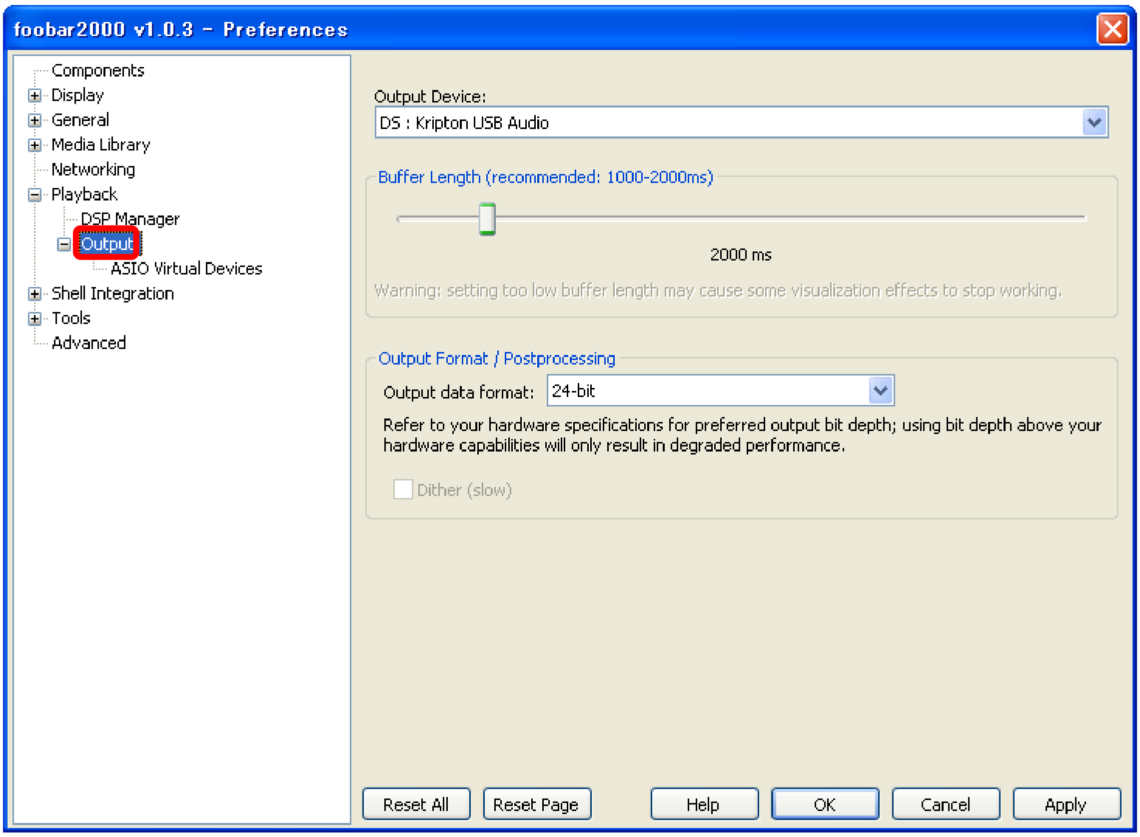
16. ＜none＞の箇所を右クリックして Mapping を下記のように［Left］に設定します。



17. 同様に＜none＞の箇所を下記のように Mapping を［Right］に設定し、［OK］を押します。



18. Preferences（左メニュ）の Playback 配下の " Output " を選択します。



19. "Output Device:" の［ASIO：ASIO4ALL v2］を選択し、［OK］を押して設定完了します。

